



第70回 アカデミー賞®ノミネート

最優秀主演女優賞・最優秀助演女優賞
(ヒラリー・スワック) (クロエ・セヴィニー)

ゴールデン・グローブ賞受賞
 最優秀主演女優賞・ヒラリー・スワック

最優秀主演女優賞・ヒラリー・スワック
 ニューヨーク映画批評家協会賞
 ロサンゼルス映画批評家協会賞
 ボストン映画批評家協会賞
 トロント映画批評家協会賞
 ブロードキャスト映画批評家協会賞
 シカゴ映画祭
 ストックホルム映画祭
 キョン映画祭(スペイン)

最優秀助演女優賞・クロエ・セヴィニー
 全米批評家協会賞
 ロサンゼルス映画批評家協会賞
 ボストン映画批評家協会賞

最優秀新人監督賞・キンバリー・ピアース
 ニューヨーク映画批評家協会賞
 ナショナルボード・オブ・フィルム賞
 ボストン映画批評家協会賞

国際批評家賞・最優秀作品賞
 ロンドン映画祭
 ストックホルム映画祭

最優秀脚本賞
 ストックホルム映画祭

最優秀作品賞
 リール・オブ・フェイム映画祭
(1999年 11月17日)

観客賞
 セント・ルイス国際映画祭

最優秀ノ・ヨ・ロ・ビ・ア・ン・フィルム
(1999年 11月17日)
 1999年ヨーロッパ映画祭

1999年ベネチア映画祭 特別招待作品
 1999年トロント映画祭 特別招待作品
 1999年ニューヨーク映画祭 特別招待作品

自分自身を
 見出すための
 勇気を描いた
 衝撃の実話。

ヒラリー・スワック
 クロエ・セヴィニー
 ピーター・サースガード

ボーイズ ドント クライ

BOYS
 DON'T
 CRY

フォックス・サーチライト・ピクチャーズ AND ガイ・インデペンデントフィルム・チャンネル・プロダクション 監
 キラーフィルムズ/ハート・シープ・エンターテインメント 元プロダクション キンバリー・ピアース 脚本 "ボーイズ・ドント・クライ"
 ヒラリー・スワック クロエ・セヴィニー ピーター・サースガード ブレンダン・セクストン三世 アリシア・フォアラント
 アリシア・ゴランソン マット・マクグラス ロブ・キャンベル AND シャンネッタ・アーネット(作) 監
 キャス・グッホブキンス、スミス AND バートン 監 兼 兼 サウン・ラマン 監 兼 兼 ジェイ・ラッド・ル・ボスター 監 リー・パーソン、AGE
 プロダクション/ライター/マイケル・シヨウ 監 ジム・デノール 監 兼 プラウド・フォード・ソニアソン
 監 兼 兼 バメラ・コブラー、ジョン・サン・セルング、キャロライン・カプラン、ジョン・スロス
 監 兼 ジェフリー・シャーブ、ジョン・ハート、エバ・コロドネラ、クリスティー・ヴァン・アッセン 監 兼
 監 兼 キンバリー・ピアース、アンディ・ピーネン 監 兼 キンバリー・ピアース



www.foxjapan.com

PG-12
 12歳未満の方は見るべく
 保護者が同伴して下さい

これは勇気の物語です。自分がそうあるべき人生、
 そうなりたいと思った人生を生きた女性の物語です。(ヒラリー・スワンク)

ボーイズ ドント クライ

<キャスト>

ブランドン・ティーナ……ヒラリー・スワンク
 ラナ……クロエ・セヴィニー
 ジョン……ピーター・サースガード
 トム……ブレンダン・セクストン三世
 ケイト……アリソン・フォーランド

<スタッフ>

監督……キンバリー・ピアース
 共同脚本……アンディ・ビーネン
 撮影……ジム・デノルト
 編集……リー・パーシー
 音楽……ネーサン・ラーソン

★“理想のボーイフレンド”に隠されていた秘密

ブランドン・ティーナは小柄で美しい青年だった。彼には不思議なカリスマ性が備わり、だれもがそのチャーミングな存在に引き寄せられた。彼は女性たちの理想のボーイフレンドになった。けれど、彼はみんなが思っているような“彼”ではなかった。肉体と戸籍上はティーナ・ブランドンという女性だったのだ。性同一性障害によって間違った肉体の中に閉じこめられてしまったティーナは、ブランドンとして生きることを選んだ。ブランドンはラナと出会い、恋に落ちた。ラナはすべてを理解した上でブランドンを愛した。しかし、彼の秘密が明らかになったとき、悲劇の幕が切って落とされた。



★美話をもとに描くパワフルな物語

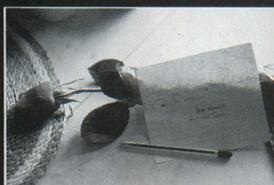
「ボーイズ・ドント・クライ」はアメリカでも最も保守的な地域で起こった美話をもとに、ブランドン・ティーナの生と死を通して、アメリカの若者と性的アイデンティティの矛盾を探っていく。これが初の劇場用長編映画となるキンバリー・ピアース監督は、センセーショナルな事件を真摯に見据え、ドラマチックにパワフルに物語を語っていく。関係者へのインタビューに自分の想像力を加え、フィクションとノンフィクションを巧みに混ぜ合わせることによって主人公たちの魂に迫り、その心の痛みを伝えようとする。

★現代の「理由なき反抗」

ピアース監督がインスピレーションを受けたのは「俺たちに明日はない」「地獄の逃避行」といったアメリカの犯罪映画。飾り気を取り払った率直な語り口からは、少年たちの息づかいがリアルに聞こえてくる。これは、閉鎖的な田舎町の生活に疲れたアウトサイダーの純粋なラブ・ストーリーでもある。いわば現代におけるもう一つの「理由なき反抗」なのだ。

★リアルな俳優たちの演技

この映画の成功の最大の要因は、ブランドンに扮したヒラリー・スワンクの男っぷりにある。美しい瞳と華奢な肉体がイノセントな少年を思わせ、ブランドンの持っていたカリスマ性をうかがわせる。また、「KIDS」「Gummo」などで強烈な印象を残すクロエ・セヴィニー、「ハリケーン・クラブ」のブレンダン・セクストン三世、「仮面の男」「アナザー・デイ・イン・パラダイス」のピーター・サースガードらが、リアリティのある演技でこの物語を真実味あるものになっている。



★“ニュー・ニュー・シネマ”の旗手、K・ピアース監督

昨年末、ロサンゼルス・タイムズはアメリカ映画の“ニュー・ニュー・シネマ”の誕生を高らかに宣言した。アメリカでは60年代末から70年代にかけて“ニュー・シネマ”が席卷し、その後 Coppola、Spielberg、Scorsese といった映画学科卒の監督たちが優れた映画を送り出してきた。そして今、ハリウッド・システムに毒されていない若いフィルム・メイカーたちがアメリカ映画を変えようとしている。たとえば「マトリックス」のウォシャウスキー兄弟、「マグノリア」のポール・トーマス・アンダーソン、「シックス・センス」のM・ナイト・シャマラン、「ザ・ビーチ」のダニー・ボイル。そして、本作のキンバリー・ピアースが女性監督としては唯一、21世紀のアメリカ映画を担う才能として大きく取り上げられている。



★世界の映画賞、続々受賞!

この作品は1999年ベネチア映画祭の現代映画部門、トロント映画祭の現代映画部門、ニューヨーク映画祭で上映されて好評を博し、シカゴ映画祭で最優秀女優賞を受賞。ストックホルム映画祭では最優秀脚本賞、最優秀女優賞、国際批評家連盟賞、観客賞を総なめ。さらに、全米批評家協会賞、ニューヨーク映画批評家協会賞、ロサンゼルス映画批評家協会賞の他にゴールデン・グローブ賞ドラマ部門で主演女優賞を受賞するなど、今年の映画賞レースのダークホース的存在となっている。



今夏ロードショー

7.29

特製ポストカード付(劇場窓口先着限定)
 前売券発売中! 一般券¥1500

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト4F 06(6440)5977

河原町三条上ル・京都朝日会館4F 075(255)6760

JR三宮駅東・中央区役所北隣 078(251)9877

梅田ガーデンシネマ

京都朝日シネマ

三宮アサヒシネマ